

# [鈴木みきお] 県政報告

<b>雪</b>	<b>害</b>	<b>対</b>	<b>策</b>
<b>特</b>	<b>集</b>	平成26年3月 [特別号]	
発行者 / 鈴木みきお 〒404-0044 山梨県甲州市塩山下塩後627 TEL 0553-33-3676 FAX 0553-33-3668 E-Mail : mikiooo16@yahoo.co.jp			



2月23日に雪害視察のために来県した林芳正農林水産大臣に被害状況を報告



豪雪から1カ月余を経過した今もなお、民家の日影には残雪が見られます。まさに経験のない大雪でした。不幸にも亡くなられた方もおりました。改めてご冥福をお祈りいたします。さらに、農業を中心に前例のない被害が発生、とりわけ私たちの峡東地区ではブドウハウス倒壊を中心に深刻な被害に見舞われました。重ねてお見舞いを申し上げます。

雪が止む直後から事態を深刻に受け止めた自民党県支部連合会では、いち早く緊急対策に着手、私は峡東地域の責任者として、奔走の毎日となりました。本格的な春を迎える中、完全復旧には至りませんが、この間における私たちの活動の内容をご報告いたすとともに、災害復旧に関する皆様のご意見をお待ちしております。

鈴木みきお

## 県史上かつてない豪雪災害

2月14日未明から降り始めた雪は、翌15日午前10時頃まで止むことなく降り続き、甲府市で積雪114センチ、河口湖では143センチを記録しました。県内では明治27年に観測が始められて以来の積雪量でした。未曾有の豪雪は、本県全域を文字通り「陸の孤島」と化し、中央自動車道、JR、主要国道、県道は通行不能となり、何百台もの車が立往生、生活道路も寸断され県民生活に前例のない混乱を生じさせました。各地域から断片的に入ってくる情報は、農業被害をはじめ、不幸にも亡くなられた方も含まれるなど深刻さを極めました。

この危機的状況を踏まえ、自由民主党山梨県支部連合会は2月17日、自民党県連会館内に「自民党山梨県連雪害対策本部」(本部長・清水武則)を設置、同日開設された県の災害対策本部への支援のため、党所属国会議員、県議会議員と県との緊密な連携体制を整えま

した。以後、県内地域ごと所属県議への被害報告の要請、それに伴う、党所属国会議員への協力要請、政府と与党自民党への支援要請等々に奔走いたしました。

政府とその与党自民党を底支えする立場にある県支部連合会は、地域支部～県議～国会議員の組織を通し全力投球で今回の災害に対応いたしました。完全復旧への道のりは農業被害を中心に、まだこれからの状況ではありますが、今後も組織の総力を挙げて取り組んでいく覚悟であります。とりあえずは豪雪以来数週間の県連の活動についてご報告させていただきます。



### 雪害対策1 2月17日月

#### 「県連雪害対策本部」を設置

14日未明から降り始めた雪は、15日午前10時頃止んだものの甲府は114センチというすぐには信じられない記録が発表された。この間、交通機関のマヒなどにより情報は混乱したが、各地の県連所属議員の間では「ただごとではない」との情報が交わされた。

15日午前6時半、県、県警、自衛隊などによる第1回豪雪対策連絡会議が開かれ、応急対策などが協議された。各地域からの状況報告に従い午前11時20分、陸上自衛隊第1師団へ災害派遣要請が出された。翌16日午後1時、知事、政府の災害連絡会議にテレビ電話で参加し支援を要請。

翌17日午前9時45分、県が「災害対策本部」を設置。同日午後1時半、政府調査団が来庁し知事から首相宛の要望書が渡された。

この間、県連は「15日以来の状況を踏まえ、雪害対策を的確、迅速、効果的に進めるため」として、県との連絡を緊密に保ちながら、所属国会議員、県議会議員らによる対応を協議、県と合わせて「自民党山梨県連雪害対策本部」を設置した。

政府与党である自民党の県組織の立場から、党本部への支援要望で県の対策をバックアップすることとなった。



## 雪害対策2 2月19日 水

# 所属県議へ被害状況の報告依頼と 農水大臣への視察実施要請

県連雪害対策本部は2月19日付けで、所属県議会議員に対して、独自の雪害対策本部の設置を報告するとともに、清水武則会長名で「山梨県内における歴史的豪雪に対する被害状況の報告方お願い」の依頼書を送付、各県議の地域における被害状況の報告を依頼した。

併せて同日付けで、林芳正農林水産大臣への「山梨県内における雪害対策の実施(お願い)」の要請書を提出した。その中で「1メートルを超える記録的・歴史的豪雪により、農業施設の倒壊をはじめ、交通機関の分断・マヒなどにより県民生活は未曾有の困窮状況にあります。県連はこの

ような状況を踏まえ、党所属国会議員、県議会議員並びに山梨県と緊密な連携のもと自民党山梨連雪害対策本部を設置して、必要な措置を講じておるところであります」として「特に主要農産物である、ブドウ、モモ、サクランボ、イチゴ並びに野菜、花卉栽培などの温室施設であるビニールハウスの倒壊による雪害が深刻な状況にあります。つきましては、このような被害状況については是非とも早急に視察を賜り、適切な対応をいただきますよう取り急ぎお願い申し上げます」と要請した。



## 雪害対策3 2月21日 金

# 所属国会議員へ 「被害状況の報告方お願い」要請

2月21日、県連雪害対策本部は「山梨県内における歴史的豪雪に対する被害状況の報告方お願い」として県連所属の衆参国会議員宛に、政府や自民党本部等で、検討している本県の被害に対する国の方針等の情報を求めるとともに、適切な対応を要請した。この中では「国会議員の先生方が得ている被害状況の中で、同対策本部で扱うべき情報がありまし

たら、随時連絡いただけるようお願いいたします」とした。

これを受けて宮川典子、堀内詔子、中谷真一(衆議院)、赤池誠章、森屋宏、堀内恒夫(参議院)の各県連所属国会議員が揃って、国の対策本部の担当部署に山梨県の被害状況を訴え、各種要望を提出するとともに情報提供を求めた。



西村副大臣と雪害対策について協議



## 雪害対策4 2月23日 日

# 林芳正農水大臣が雪害視察に来県 国会議員・県議会議員との意見交換会の実施

2月23日、県並びに自民党県連の要請を受けた林芳正農林水産大臣が午前9時28分甲府駅着のスーパーズ5号で来県。林農水大臣は横内知事との面談後、政府現地対策本部を経て山梨市(山梨共選所の損壊)、甲州市(旧塩山市内のハウス損壊)、笛吹市(富士見地区ハウス損壊)を現地視察し各市長、県農協中央会・広瀬久信会長らの説明を受けた。

同日午後1時からは、自民党県連会館で「国会議員・県議会議員との意見交換会」に出席。意見交換会には林農水大臣とともに、今回の雪害に対する政府災害対策本部長の西村康稔副大臣も出席し、県連雪害対策本部

からは清水本部長はじめ、赤池誠章、宮川典子、堀内詔子、中谷真一の各所属国会議員、所属県議と県農協中央会・広瀬会長が出席した。

冒頭に清水本部長が「一刻も早い適切な国の対策を講じていただきたい」とあいさつ、林大臣は「本日の視察は、そもそも、自民党山梨県連から『山梨に来ていただきたい、来ていただけないだろうか?』というのが発端でございました」と語り、「このたびは全体の被害の掌握を待たずに、早急に対策をまとめようと思っています」との力強い支援の約束をいただいた。



林大臣へ雪害報告と支援を要請する  
県農協中央会・広瀬会長



## 雪害対策5 3月7日 金

# 「山梨県雪害対策会議」の開催 農家など被災者へ国などの手厚い支援策が実現

3月7日、自民党本部において、県連から各省庁への緊急要請に対する「山梨県雪害対策会議」を開催。県連所属国会議員と県連会長・三役の出席のもと、内閣府をはじめ各省庁の担当者にご出席をいただき、雪害への取り組みについて協議した。

その結果、被害が甚大なハウスの再建・修繕費用の5割を国が補助する支援策に加え、さらに県と市町村で折半により4割を上乗せすることにより、ハウス再建費用の9割が補助され、また、倒壊した施設の撤去については全額公費負担となる手厚い支援内容を確認した。

さらに、山梨県建設業協会の雪害に伴う既存工事の工期延長措置などの要望書を踏まえた雪害支援、経済産業省による中小企業所有の施設に

対する災害指定の適用、さらに、観光に対する支援、及び災害対策の充実等について強力な支援策を要請した。なお、清水武則県連会長より、石破茂幹事長に各省庁への要請内容を報告し、併せて党本部の一層の支援を要請した。



県建設業協会浅野会長より雪害に対する  
要望書を県連に提出



雪害に伴う各省庁への要請内容を石破幹事長に  
報告する清水県連会長他、所属国会議員など

## おわりに

今回の雪害については、調査が進むにつれ、3月に入っても被害規模は拡大しております。復旧に関しても、まだその途についたばかりの状況です。自民党山梨連雪害対策本部会長として、地元の峡東地域を駆け回った私は、被災農家の惨状を目の当たりにしました。今後も皆様の被害が一刻も早く回復するよう全力を挙げてまいります。